

日本郵便とJR東日本との連携協定に基づく「郵便局と駅の機能連携」
～内房線江見駅で郵便局窓口業務と駅窓口業務の一体運営を実施します～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 横山 邦男／以下「日本郵便」）と東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長 深澤 祐二／以下「JR東日本」）は、2018年6月12日に締結した「日本郵便とJR東日本の地域・社会の活性化に関する協定」に基づき、「郵便局と駅の機能連携」、「両社のネットワークを活用した物流」、「地域活性化施策」などさまざまな分野で連携の検討を行っています。

このたび、「郵便局と駅の機能連携」として、現在無人駅となっている内房線江見駅（千葉県鴨川市）において、郵便局における駅窓口業務の一体的な運営を以下のとおり初めて実施します。

これからも日本郵便とJR東日本は互いに連携協力することにより、一層の地域・社会の活性化に貢献していきます。

1 概要

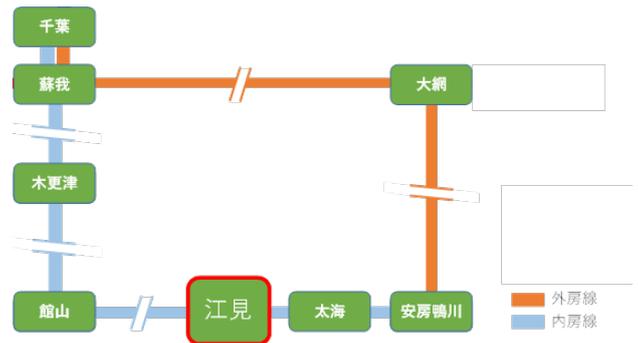
千葉県鴨川市の江見郵便局を江見駅の敷地内に移転し、新たに駅と一体となった郵便局舎を建設し、江見郵便局において駅窓口業務の取り扱いを行います。

2 駅窓口業務の取扱内容

普通乗車券、定期券などの乗車券類及び無記名式のSuicaの販売業務、精算業務、列車の発車時刻、運賃の案内業務など

3 実施時期

2020年8月（予定）



【外観イメージ】



【内観イメージ】



以上